

大 個 審 第 1 2 号
(答 申 第 3 7 号)
平成 1 5 年 3 月 1 8 日

大阪府知事 様

大阪府個人情報保護審議会
会長 佐藤 幸治

個人情報の取扱いに関する意見について (答申)

平成 1 5 年 3 月 1 4 日付け母子第 4 1 7 号で諮問のありましたカルテ等診療情報に係る大阪府個人情報保護条例第 8 条第 1 項第 7 号に規定する個人情報の目的外利用及び提供の禁止に対する例外事項については、審議の結果、下記事項に留意して、個人情報の保護に万全の措置を講じることを前提に、本件提供に関して例外事項に該当するものとして取り扱って差し支えないものと認めましたので、答申します。

記

- 1 本件においては、本人が学齢に達していない幼児であるとともに、本件申出者が本人の親であり最も近い関係の遺族であること、本人の生前は法定代理人 (親権者) として開示請求権を有していたこと、また、医師からの病状、治療等に関する説明は両親である申出者及びその妻に対して行われており、本人の病状、治療等に関する個人情報を知る立場にあったことなどから、これらの個人情報を申出者に提供したとしても本人の権利利益を侵害するおそれはないものと思われる。
ただし、本件提供に当たっては、申出者の妻の同意を確認した上で提供することとされたい。
- 2 なお、提供対象となる情報の中の第三者に関する情報のうち、府立母子保健総合医療センターの医師、看護師等の職員に関する情報については、府民の利用に供することを目的として管理する刊行物等に記録されている個人情報であることから、申出者に提供しても当該第三者の権利利益を不当に侵害するおそれがないものと考えられるが、上記以外の病院の医師に関する個人情報については、当該人の同意を得た上で提供することとされたい。
ただし、他の患者の氏名、病状等に関する情報については、当該人等の権利利益の保護を図る観点から、提供すべきではない。
- 3 また、申出者以外の親族に関する個人情報については、申出者から収集したもの以外については当該人の同意を得た上で提供することとされたい。